

# 算数科 小学校 5年

## 単元名「単位量あたりの大きさ」

### 本時の流れ

#### 【本時の目標】 第3時

○日常生活で単位量あたりの考え方が用いられる場面を知り、これを用いて、1つの観点から量の大きさを比較している。

**【復習】**  
一方の量を単位量にそろえて比べるなど、これまでの学習を振り返る。

**【めあて】**くらべ方を考えよう。

**【めあての把握】**  
本時のめあてを知る。

#### 【問題文】

値段が同じ2台の車があります。Aの車は、4ℓのガソリンで72km走ります。Bの車は、5ℓのガソリンで80km走ります。どちらの車が環境によいでしょうか。

#### 【めあての把握】

2つの観点から単位量あたりの大きさを比較することを知らせる。

#### 【発問】

○比べる方法を考えて、図・式・文などで表しましょう。

**【自力解決・ペア学習】**  
・本時の学習課題を知る。  
・課題を解く方法を考える。  
・ペアで考えを交流する。

#### 【自力解決】

単位量あたりの考えを使って、2つの観点から単位量あたりの大きさを比較。計算がしにくい場合は、電卓を使わせる。

#### 【ペア学習】

隣の児童やグループの児童と交流して、文や図の表し方を学び合う。

**【集団解決】**  
考えを発表し、まとめる。

#### 【発問】

○自分の考えを発表しましょう。

#### 【話し合い】

・それぞれの数字が表しているものが何かを中心に話し合わせる。  
・単位量あたりにそろえる一方を明らかにして計算して出てきた数を線分図等、視覚的に分かりやすく表示する。

**【練習問題】**  
練習問題をする。  
(燃費や比べる対象を3つにした問題)

#### 【問題文】

30リットルのガソリンで360km走る自動車Aと、40リットルのガソリンで500km走る自動車Bと、50リットルのガソリンで650km走る自動車Cがあります。どの自動車が少ないガソリンでよく走るといえますか。

**【学習のまとめ】**  
振り返りを書く。

#### 【振り返り】

今日の授業で大切だと思ったこと、気付いたことをまとめさせる。

HOME

単元の流れへ

授業展開例へ

## 板書例

日付  
ページ

めあて くらべ方をかんがえよう

まとめ

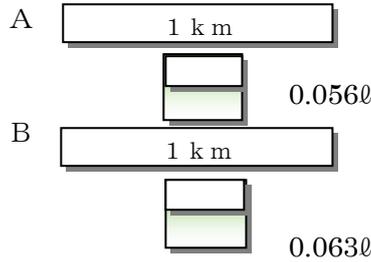
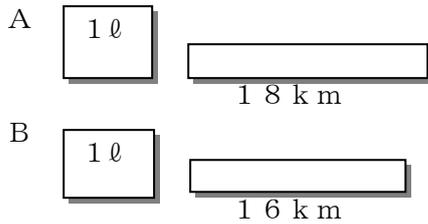
値段が同じ2台の車があります。Aの車は、4ℓのガソリンで72km走ります。Bの車は、5ℓのガソリンで80km走ります。どちらの車が環境によいでしょうか。

一方を1枚・一人・1km<sup>2</sup>・1ℓ・1kmあたりという大きさにそろえて比べることを単位量あたりの大きさに比べるという。

児童の考え

A  $72 \div 4 = 18$  ☒  
B  $80 \div 5 = 16$   
1ℓで18km走るAの車の方が環境によい。

A  $4 \div 72 = 0.056$  ☒  
B  $5 \div 80 = 0.063$   
1kmで0.056ℓ使うAの車の方が環境によい。



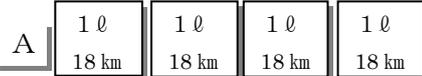
練習問題

30リットルのガソリンで360km走る自動車Aと、40リットルのガソリンで500km走る自動車Bと、50リットルのガソリンで650km走る自動車Cがあります。どの自動車が少ないガソリンでよく走るといえますか。

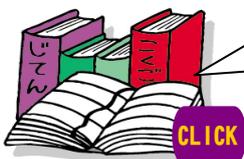
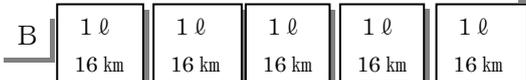
## 児童のノート記入例

値段が同じ2台の車があります。Aの車は、4ℓのガソリンで72km走ります。Bの車は、5ℓのガソリンで80km走ります。どちらの車が環境によいですか。

Aの車  $72 \div 4 = 18$   
Bの車  $80 \div 5 = 16$



答え 1ℓあたり18km走るAの車の方が、1ℓで16km走るBの車より環境によいです。



詳しい本時の展開はこちら